

入試期間中の学校前における握手での応援について

11月吉日

昨今の、新型コロナウイルス感染状況、そして一度きりの中学入試。とても大切な「受験」を迎えるにあたり、入試応援の考え方についてお知らせします。

変わるものは何か。変わらないものは何か。私たち日能研は、何十年も前から、入試のその日、子ども達が入試を受ける試験会場で、受験に足を踏み入れるその時、共にいたいと思い、校門前での入試応援、握手を続けてきました。結果がでる前だからこそ、誰もが受験生という子ども一人一人に仲間として寄りそいたい、という思いを形に。毎年の受験校登録をもとに、登録されているすべての学校に、入試に、応援に行くことを続けてきました。しかしながら、例年とは異なる状況です。新型コロナウイルスの感染が、いつ拡大するかわからない状況の中で、入試当日に子ども達が全力で入試に向かい合う時に、子ども達、そしてご家族の皆さまに新型コロナウイルス感染というすこしの不安さえも持ちこむのは、私たちがやりたい応援の形ではないと考えました。以上の考えから、入試当日に校門前で握手をして応援をするという形をやめることとしました。

子ども達は、入試当日のその時間は一人で入試問題と向かい合います。でもその内側は、子ども達は一人ではありません。入試までに仲間と過ごした時間、ご家族からの支えの言葉、日能研のスタッフからの数々の声。入試当日までの期間の中、仲間と共に“自分を育てた自分が”入試に向かい合います。この共にある時間が豊かであればある程、入試当日に受験生として全力を出し、絶対に諦めない受験生として入試に向かうことができるのだと日能研は考えています。

今年だからこそ、今から受験生になる準備にじっくり時間をかけて「入試」という特別な体験を迎えていきましょう。

日能研